

《担当者名》呉 秀娟（非）neimengxiujuan@yahoo.co.jp

【概要】

ゼロからの学習者を対象とする。中国語の発音とその表記法（ピンイン）を学び、特に四声に関して、徹底した指導を行なう。その際、学習者に苦手意識を持たせぬよう、日常に役立つフレーズや文法事項を分かり易く解説しながら、学習者が中国語を話すことに楽しさを感じられるよう留意する。また、語学的指導以外に、日本と中国の文化や習慣の違いなどについても、両者を比較しながら紹介してゆく。

【学修目標】

- ・中国語の発音とその表記法を理解し、初歩的な会話ができることを目標とする。
- ・中国語の初歩的な語彙や文法、表現法を理解し、身につけることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	中国語とは？	呉
2	発音	声調（四声）の発音 / 軽声の発音	呉
3	発音	単母音の発音 / 複母音の発音	呉
4	発音	子音の発音（1）	呉
5	発音	子音の発音（2） / 挨拶言葉	呉
6	Aの部分	声調記号の付け方 / nとng発音 / 三声の変調	呉
7	Bの部分	数字（0～10） / 数詞述語文 / 疑問詞疑問文	呉
8	Cの部分	人称代名詞 / 動詞述語文 / 助詞「吧」	呉
9	Dの部分	名前の聞き方・答え方	呉
10	昼食会 のA	指示代名詞 / 形容詞述語文	呉
11	昼食会 のB	諾否疑問文 / 否定を表す「不」と変調	呉
12	昼食会	正反疑問文 / 選択疑問文 / 名詞句	呉
13	昼食会 のA	親族名称 / 所有を表す動詞「有」	呉
14	昼食会 のB	年齢の尋ね方 / 「一」と変調 / 数字（10～99）	呉
15	まとめ	前期の総復習	呉

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験60%、平常点（授業の取り組み・小テストや課題の成績など）40%

【教科書】

董燕・遠藤光暁著『ともだち・朋友 スリム版1』朝日出版社

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介・説明する。

【備考】

基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。

中国の伝統文化や現代中国事情についても、映像資料を使用しながら適宜紹介する。

Google Classroom を利用して学習課題を提示する。

【学修の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回60分の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属の音声ファイルを活用しながら復習すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5： 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP4： 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。